


特定非営利活動法人 日本免疫学会
2023 年度 後期 Tadamitsu Kishimoto International Travel Award
研究発表報告書

申請者氏名	藤崎 桂子	会員番号	003609	
申請者の所属・職名	東京理科大学 生命科学研究所 博士後期課程 3 年			
出席会議名	18th International Congress of Immunology			
発表論文タイトル	Composition of the adult B-1 cell pool revealed by a novel RAG2 lineage tracing system			

実施結果：

この度は 2023 年後期 Tadamitsu Kishimoto International Travel Award に採択いただき、誠にありがとうございました。岸本忠三先生をはじめとし、選考委員会、事務局の先生方に心より御礼申し上げます。

本 Travel Award 御支援のもと、2023 年 11 月 27 日から 6 日間に亘り、南アフリカのケープタウンで開催された 18th International Congress of Immunology (IUIS 2023) に参加致しました。本会議は 3 年毎に開催される国際免疫学会ですが、本年度は COVID-19 の関係で 1 年遅れての開催ということも重なってか、各国から非常に多くの免疫学研究者が集う活気の溢れる学会でした。開催期間中の発表内容は全てが刺激的でしたが、特に Rising Stars program では各分野のイニシアチブを持つ若手の研究者の最新のデータを交えた発表を聞く事ができ、学びが多い非常に刺激的な時間を過ごしました。

その中で、私は”Composition of the adult B-1 cell pool revealed by a novel RAG2 lineage tracing system”という題目で B-1 細胞における新規システムをポスター発表にて報告いたしました。本マウスの利点がうまく伝わり、システムのキレについてポジティブな意見を頂いた一方で、鋭い指摘もあり、議論を重ねる中で再度データを見つめ直す機会にもなり、非常に有意義な時間を得られました。特に、開催期間中に知り合った同世代の研究者にもポスターにも数名足を運んでもらい、その中で、端的で具体性のある質問を頂くことが多く質疑応答の仕方に学ぶ点が非常に多かったと感じています。

交流という点においては、1 日に数回コーヒブレイクの時間を含めてソーシャルイベントが数多くあり、同世代の PhD の学生をはじめとし多くの研究者の方々と交流する機会が得られました。本学会で得た交流は絶やさずに、学んだ事全てを今後の研究生活に活かしていきたいと思っております。

末筆とはなりますが、本賞へご推薦頂きました北村大介先生、本研究遂行にあたりご指導いただきました後飯塚僚先生に心より感謝申し上げます。